3.5.2. Dynamics GPからのデータ取得方法

この文章では以下を説明します。:

- 統合の制限
- インポートされるデータ
- データインポートワークフロー

統合の制限

GMDH StreamlineとDynamics GPの統合は、双方向の統合ではなく、単方向です。つまりGMDH StreamlineがDynamics GP データベースから必要なデータをすべて読み取りますが、計算された購入オーダーをDynamics GPに作成することはできません。

インポートされるデータ

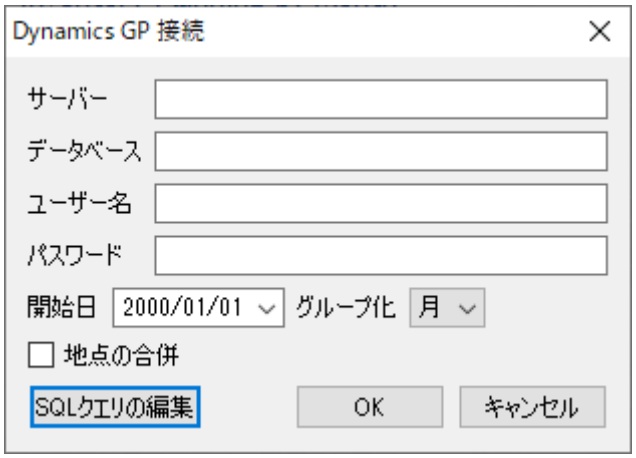
このDynamics GP 接続は、いくつかの事前に定義されたSQL クエリを必要に応じてカスタマイズして利用しますGMDH Streamlineにインポートされるデータについては、在庫管理システムにて記載されています。

データインポートワークフロー

必要なデータをインポートするためGMDH Streamlineは、Dynamics GP データベースと直接接続の確立が必要です。そのため、データベースアカウントの中から、データベースからデータを読むことができる権限(SQLのSELECTクエリ)を持つユーザー情報(ユーザー名とパスワード)をDynamics GP 接続に与える必要あります。

Dynamics GPのデータから新規プロジェクトを作成するには、次の手順に従います。:

1. メニューの**ファイル** > **新規** > **Dynamics GP 接続**を選択します。**Dynamics GP 接続**ダイアログが開きます(下記の図を参照)。



2. Dynamics GP データベースとSQL serverが実行されているサーバー名を入力します。リモート接続の場合、サーバー名はサーバーへのネットワークパスが必要です。この場合SQL serverへのリモート接続が必要です。

3. **データベース**フィールドにデータベース名を入力します。

4. SQL serverからデータを読むことができるアカウントユーザー情報を**ユーザー名** と **パスワード** フィールドに入力します。

5. **次から開始**コントロールにインポート開始したい日付を入力または選択します。



精度の高い予測を作成するにはGMDH Streamlineに少なくとも*24か月*の販売履歴を設定することを強くお勧めします

2020/09/29 06:44

6. **タイムスタンプのグループ化**コントロールにてデータ集計期間を選択します。データを設定された(日、週、月)期間で自動的に集計します。例えば、予測、補充計画や他のレポートを月単位で確認する場合、月単位でデータをグループ化します。

7. **OK**をクリックしてインポートを開始します。

インポート オプション

- **地点の合併**オプションは、すべての地点を1つにまとめることができます。このオプションは、各倉庫が並んでいるために、1つの統合された倉庫として計画をしたい場合に便利な機能です。
- デフォルトのSQL クエリをカスタマイズする必要がある場合、**SQLクエリの編集**からデータベース 接続 ダイアログを開きます。

次へ: Dynamics NAV

PDFダウンロード

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:dynamics-gp-connection-guide

Last update: **2020/09/26 13:18**